

**博物館への COVID-19 流行の中期的影響：
リトアニア共和国の事例**

Impact of COVID-19 on Museums in the Medium Term: Case in Lithuania

木村 文
Aya KIMURA

【研究ノート】

博物館への COVID-19 流行の中期的影響：リトアニア共和国の事例

Impact of COVID-19 on Museums in the Medium Term: Case in Lithuania

木村 文[※]

Aya KIMURA

Abstract:

A couple of years after 2020, the historical pandemic affected museums worldwide. Thus, museum professionals has been challenging to return the situation to usual, and their efforts seem adequate. Still, it is also relevant to study what was and has been the effect of the pandemic. This article explores three aspects of the transition: the continuance of museums and the fluctuation of their on-site and online visitors. Therefore, the author selected three indicators for the analysis: the number of museums to examine the continuance of museums, the number of annual visitors of each institution to investigate the fluctuation of their on-site visitors, and the number of annual accesses to the website of each institution to examine the fluctuation of their online visitors. In addition, to explore the changes between pre- and post-COVID times, the author adopted data from 2017 to 2022 for the analysis. This article addresses the case of museums in the Republic of Lithuania since there is sufficient official statistical data for analysis of the three aspects written above. Descriptive statistical analyses indicated three traits of the transition. Firstly, the number of museums slightly increased, and no museum disappeared for the sake of the pandemic. Secondly, the number of on-site visitors once dropped in 2020 but recovered to pre-COVID times. Lastly, the number of website access has continuously decreased since 2017, and perhaps websites are no longer an information source for museums' audiences. Further research may include long-term perspectives and adopt more varied methods to investigate post-COVID museums more in-depth.

キーワード：ポストコロナ、統計、来館者、ウェブサイト、リトアニア

1. 問題提起

世界各国の博物館は、2020年初頭に世界的な流行の始まった新型コロナウイルス感染症（以降、COVID-19）の影響を受けた。一時的には、世界中の推計 95,000 館の博物館の約 9 割が感染症流行期に一時的な閉館⁽¹⁾を余儀なくされた（UNESCO 2020:4）。また、その影響により多くの博物館が財政的に不安定になり、二度と再開館しない懸念を抱く博物館も数多くあった（ICOM 2020）。一定期間の閉館を経て再開館した博物館においては、感染予防対策のための新たな取り組みが行われるようになった（ICOM 2021;

Grant et al. 2020; Skipper, Fry, and Willett 2021）。

本稿執筆時において、その流行拡大開始から 3 年が経過し、表面的には既に「以前のように」博物館が開館し、社会生活が営まれている。博物館における COVID-19 の影響について着目する動きも鈍くなり、国際的な大規模のフォローアップの調査は、博物館の「ニューノーマル」を描き出した ICOM による 3 度目の調査（2021 年 4 月から 5 月に実施）が最新のものである（ICOM 2021）。一方で、危機を逆手に取ることによって今後の博物館の在り方を大局的に展望する論考として Bull (2020) や Prince, Laven, and Lawson

※帯広畜産大学人間科学研究部門

原稿受理日：令和 5 年 4 月 8 日

(2021) 等が見られたものの、理論からの演繹による理想を掲げる傾向があった。これらに見るように、COVID-19 流行に伴って博物館において起こった変化を中期的に把握する試みはまだ主だっで行われていない。ポストコロナ時代の博物館を見通すためにも、中期的視点に立った検証が必要である。

そこで本稿では、公的な統計データを分析することにより、博物館への中期的な影響を考察することを目的とする。特に、博物館数の推移、来館者数、ウェブサイトへのアクセス数を統計データから分析することによって、博物館の存続、来館者数の傾向、オンラインの活動への反応についての知見を得ることを試みる。博物館の国際的な統計データを得ることは難しいので、国内の博物館のリスト、毎年の来館者数、ウェブサイトへのアクセス数を公開している国や地域を事例として分析することが妥当であると考え。本稿では、上記の条件を満たす国の一つとして、リトアニア共和国の事例を取り上げることにする。

2. 分析対象と統計データ

2.1. 分析の対象期間と対象事例

分析の対象期間は 2017 年から 2022 年の 6 年

間とする。この 6 年間を対象とすることにより、COVID-19 流行前（2017 年、2018 年、2019 年）と流行後（2020 年、2021 年、2022 年）の 2 つの期間の推移を把握することが見込まれる。流行後の統計データは執筆時点で 3 年分（2020 年～2022 年）公開されていることから、比較のため、流行前のデータについても同じく 3 年分参照することとした。

本稿では、リトアニア共和国の博物館を対象事例として分析を行う。リトアニア共和国は、ヨーロッパ北部に位置する国家である。推定人口は 2023 年 4 月現在約 286 万人であり、国内には 2022 年現在 110 館の博物館がある。同国は 2020 年 3 月の COVID-19 の世界的なパンデミックの際に検疫措置としてロックダウンを実施し、2020 年 3 月 13 日から同 4 月 22 日、および、2020 年 11 月 7 日から 2021 年 3 月 6 日の間、国内の博物館は閉館を余儀なくされた（木村 2021 : 6）。リトアニアの博物館は、COVID-19 流行に伴う影響を受けたことが明らかであり、その実態を次項に述べる手法により明らかにする。

2.2. 分析に用いる統計データと分析方法

本稿における分析に用いるデータは、リトアニア共和国文化省 (Lietuvos Respublikos kultūros

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
		Muziejiaus rinkiniuose saugomų eksponatų skaičius	įsigytų eksponatų skaičius	Suinventorintų eksponatų skaičius iš viso	Per ataskaitinius metus suinventorintų eksponatų skaičius	Per ataskaitinius metus nurusytų eksponatų skaičius	Suskaitmenintų ir skaitmeninių kultūros paveldo objektų skaičius iš viso	Suskaitmenintų kultūros paveldo objektų skaičius	Pervertintų tikraja verte muziejiaus rinkiniuose saugomų eksponatų skaičius	Butinų konservuoti ir restauruoti muziejiaus rinkiniuose saugomų eksponatų skaičius	Per ataskaitinius metus restauruoti ir konservuoti muziejiaus eksponatų skaičius	Restauruotų eksponatų, priklausančių kitiems muziejams, į stalgiams ir	
1	Nacionaliniai muziejai												
2	Lietuvos nacionalinis dailės muziejus	258738	1252	215704	1660	0	135031	11740	258738	85950	1432	766	
3	Lietuvos nacionalinis muziejus	1397577	20056	1115639	8104	377	116413	6152	0	97957	3893	2	
4	Nacionalinis M.K.Ciurlonio dailės mu	480068	2761	425095	6864	40	99570	7213	0	2435	425	44	
5	Nacionalinis muziejus Lietuvos Didžio	141567	7386	9148	1105	0	99621	7000	0	1975	890	104	
6	VISO Nacionaliniai muziejai	2277950	31455	1765586	17733	417	450635	32105	258738	188317	6640	916	
7													
8	Respublikiniai muziejai												
9	Lietuvos švietimo istorijos muziejus	55788	229	229	229	0	6385	1083	0	168	10	0	
10	Vilniaus Gaono žydų istorijos muziejus	42144	694	38897	670	6	11531	627	0	1477	14	0	
11	Kauno IX forto muziejus	69088	320	180	29006	4	20836	215	0	1193	73	0	
12	Maironio lietuvių literatūros muziejus	328044	5688	173551	272	0	18992	4844	0	1442	25	0	
13	Vytauto Didžiojo karo muziejus	314858	8128	315272	8128	414	44984	8317	297204	0	173	0	
14	Lietuvos teatro, muzikos ir kino muzie	459276	2014	137489	2028	3445	35180	1895	459246	54079	6306	0	
15	Lietuvos etnokosmologijos muziejus	30230	58	29447	58	0	6182	239	0	355	10	0	
16	Kauno Tado Ivanausko zoologijos muz	314587	7615	292388	10602	0	6085	577	0	0	0	0	
17	Respublikinis Vadovo into akmenų m	8428	36	1045	270	0	771	318	8395	0	0	0	
18	Lietuvos jūrų muziejus	93990	1184	46446	1002	0	36832	1929	93994	800	400	0	
19	Lietuvos aviacijos muziejus	24325	157	24127	207	0	8861	2519	0	1551	0	0	
20	Lietuvos liaudies buities muziejus	94808	529	84649	2345	74	27964	3522	94808	17271	1065	0	
21	Šiaulių „Aušros“ muziejus	274942	1585	274197	1816	3697	105509	9492	270231	16615	277	36	
22	Trakų istorijos muziejus	411800	1696	310819	9261	0	59903	10090	0	3992	2045	0	
23	Lietuvos sporto muziejus	21310	720	18379	1120	0	1433	577	2028	36	12	0	
24	Žemaičių muziejus "Alka"	155252	868	116082	1169	0	20106	975	91	13180	939	0	
25	VISO Respublikiniai muziejai	2699570	31521	1858191	68183	7640	411544	47209	1225997	112159	11349	36	
26													
27	Savivaldybių muziejai (kraštotyros, memorialiniai ir kiti)												
28	Mažosios Lietuvos istorijos muziejus	141176	6533	55136	649	0	34212	2544	6422	800	601	0	
29	Jurbarko krašto muziejus	12332	320	7127	86	0	785	0	0	0	0	0	
30	Vilniaus muziejus	350	62	100	50	0	77	77	0	1	1	0	
31	Akmenės krašto muziejus	17288	8746	14656	8746	0	3249	176	1853	1	0	0	
32													

図 1 リトアニア共和国文化省の提供している統計データのエクセルファイルのスクリーンショット

ministerija) がウェブサイトにおいて公表している博物館の統計データである。統計データは「博物館統計閲覧システム (Muziejų veiklos statistinių rodiklių sistema)」に掲載されており、データを参照したい年、博物館名、データ項目を選ぶと、該当するデータを Microsoft Excel ワークシート (.xlsx) の形式 (図 1 参照) でダウンロードできる (Lietuvos Respublikos kultūros ministerija 2023)。2023 年 4 月現在、最新のデータは 2022 年のものである (ibid.)。本稿における分析では、各年の公表されている全ての博物館のデータを採用することとする。

リトアニア文化省は、リトアニアにおいて博物館を所掌する省庁であり、国内の博物館の多くは文化省に年次報告書を提出することが法令で義務付けられている (木村 2017)。この統計データは、それらの年次報告書に記載されたデータを集計したものである。

分析は、前述のように、博物館の存続、来館者数の傾向、オンラインの活動への反応の 3 つの観点から行う。これらの観点に合致する指標として、リトアニア文化省の公表している統計データから得られる次の 3 つの指標を本稿では採用する。

- ・ 博物館数 (統計データに記載の博物館を集計)
- ・ 年間の来館者数 (人、Lankytojų skaičius)
- ・ 年間のウェブサイトのアクセス数 (件、Apsilankymų muziejaus interneto svetainėje skaičius per ataskaitinius metus)

以上の 3 つの項目の指標について、COVID-19 の流行の前後の推移についての分析を行った。まず、博物館数については、表にまとめ、その増減について分析した。また、来館者数とウェブサイトのアクセス数の 2 項目については、それぞれ 2017 年から 2022 年の 6 年間のデータの基本統計量を計算した。基本統計量の計算とヒストグラムの作成には、Microsoft Excel を用いた。

3. 分析結果：3 つの指標の推移

3.1. 博物館数の推移

博物館の存続は、COVID-19 の感染拡大当初の主な懸念の一つであった。ICOM が 2020 年 4 月 7 日から 5 月 7 日にかけて実施したアンケート調査の結果によると、COVID-19 流行の経済的な打撃に関する質問について、回答者の 12.8% が、自身の勤める博物館が廃止になってしまうかもしれない、という懸念を示した (ICOM 2020:6)。そこで、まずは本稿の対象とする事例のリトアニアにおいて、博物館が廃止されたのか否かについて、博物館数の推移から分析する。

文化省公表の統計データを基に集計した 2017 年から 2022 年間の博物館数の推移を表 1 に示した。前述の「博物館統計閲覧システム」から入手できる Excel ファイル図 1 参照では、博物館の分類も示していることから、この表においては分類ごとの博物館数の推移も示した。

2017 年と 2022 年の博物館数の総数を比較すると、

表 1 博物館数の推移 (2017 年～2022 年)

	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
総数	104	104	107	106	106	110
国立総合博物館 (Nacionaliniai muziejai)	4	4	4	4	4	4
国立専門博物館 (Respublikiniai muziejai)	16	16	16	16	16	16
地方自治体立博物館 (Savivaldybių muziejai)	52	53	53	52	52	54
附属博物館 (Žinybiniai muziejai)	23	23	24	24	24	25
私設博物館 (Viešosios įstaigos / nevalstybiniai muziejai)	9	8	10	10	10	11

リトアニアの博物館数は、104館から110館に微増（約5.8%増）した。しかし、2017年と2022年の6年間のあいだ一貫して増加し続けていたわけではなく、2019年（107館）から2020年（106館）の間に1館の減少が見られた。

次に分類ごとの博物館数の増減に着目する。国立博物館（国立総合博物館と国立専門博物館）は2017年から2022年にかけて増減はない⁽²⁾。また、附属博物館と私設博物館は対象の6年間で微増傾向にあった。他方、地方自治体立博物館では、若干の博物館数の増減が見られた。2019年から2020年の間に1館の減少があり、これによってリトアニアの博物館の総数の減少が起こっていたと見られる。そこで、2019年と2020年の統計データを参照すると、「K. グリニウス大統領記念博物館（Lietuvos prezidento K.Griniaus memorialinis muziejus）」が廃止になっていた。一方で、この博物館と同じ自治体に所在する「マリヤンポレ地域と K. グリニウス大統領の博物館（Marijampolės krašto ir Prezidento Kazio Griniaus muziejus）」がこの年より記載されており、名称から推察されるに博物館が合併したことが見て取れる。したがって、1館の減少は廃止によるものではなく、合併によるものであった。

以上より、リトアニア国内の博物館数は COVID-19

流行前後の6年間に於いて、微増傾向があった。特に、附属博物館と私設博物館が増加傾向にあった。統計データ上、1館の減少が見られた年もあったが、それは合併による名目上の減少であった。したがって、リトアニアにおいて COVID-19 の影響による博物館の廃止は、調査対象期間内には起こらなかったと言える。

3.2. 来館者の分析

ここでは、リトアニアの博物館における来館者数の推移の傾向を分析する。感染症予防のためのロックダウンに伴う博物館の閉館は、文字通り来館者を博物館から締め出すものであった。再開館した後の博物館にとっての懸念の一つは、来館者が以前のように戻ってくるのか、であった。来館者の回復について分析するため、年間の来館者数の基本統計量を表2に示した。

まず、平均値と中央値は2017年から2022年にかけて、ともに同じ傾向を示している。2017年から2019年にかけて増加傾向を示し、2019年から2020年の間に急減し、2020年から2022年にかけて再び増加傾向を示した。平均値と中央値はいずれも、2022年の指標は2017年のそれよりも大きな値を示している。これらの推移が示すのは、リトアニアの博物館の全体的な傾向として、2017年以降毎年来館者が増加していたが、COVID-19 流行の始まった2020年に大幅に減少したものの、2022年までには2017

表2 年間の来館者数（人）の基本統計量

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
平均	39,927	48,329	52,230	26,772	30,060	45,167
中央値	14,456	15,082	16,600	9,607	12,283	14,960
最頻値	-	-	20000	-	-	-
標準偏差	71,559.2	103,273.5	109,113.3	53,560.2	58,217.0	90,330.2
尖度	15.9	28.9	17.6	30.1	29.7	19.2
歪度	3.77	4.89	4.05	4.87	4.85	4.10
範囲	435,974	792,870	681,108	422,072	457,748	614,392
最小	35	476	250	77	68	336
最大	436,009	793,346	681,358	422,149	457,816	614,728

年の水準までに来館者数が回復したことである。

平均値と中央値について2017年から2022年にかけて一貫していることは、平均値が中央値の2倍から3倍程度の値を示していることである。このことは、リトアニアの一部の博物館の来館者数が極めて多く、それらの博物館の指標が平均値を引き上げていることを示している。すなわち、リトアニアには来館者を極めて多く集める少数派の博物館と、平均値未満の来館者を集める多数派の博物館があると推測できる。そして、その二極的な差はCOVID-19の流行に伴う来館者の減少によって埋まることはなかったと見られる。

以上に述べたように、リトアニア国内の博物館の来館者数の分布は、平均値や中央値のみでその実態を把握しきれないほどに多様である。データのばらつきを示す標準偏差は、いずれの年においても、平均値の約2倍以上の値を示している。さらに、各年の来館者数の最大値は平均値の10倍以上、最小値は平均値の100分の1以下であり、来館者の受入れ規模の面において、最も規模の大きい館と最も規模の小さい館の格差が大きく、その傾向はCOVID-19流行の前後で変化してはいない。

ここで、各年の比較的規模の大きい博物館と比較的規模の小さい博物館についてそれぞれ分析する。

調査対象の6年間で毎年最も来館者数が多かったのは、国立専門博物館のリトアニア海洋博物館(Lietuvos jūrų muziejus)であった。しかし、表2に見るように最も来館者を集める博物館であってもCOVID-19の感染予防のための閉館の影響は避けられず、2020年の来館者数は前年に比べて25万人減であった。2019年から2020年にかけての大幅な来館者数減は他の来館者数の多い博物館においても同様の傾向を示している。年間の来館者数が10万人以上の博物館は、2017年に10館、2018年に10館、2019年に11館、2020年に7館、2021年に7館、2022年に10館であった。これらの博物館だけで、毎年国内の博物館の来館者数の4割以上を占めており、特に2020年と2021年以外は、国内の博物館の来館者数の5割以上を占めていた。

次に、来館者数の比較的少ない博物館について述べる。平均値と中央値の比較の際に言及した通り、来館者数の少ない博物館が全体を占める割合は多い。まず、来館者数が1万人以下の博物館は、2017年に40館、2018年に39館、2019年に36館、2020年に54館、2021年に48館、2022年に40館であった。これらは、国内の博物館の約4割以上を占めており、特に来館者数の落ち込んだ2020年には国内の博物館の約半数において来館者数が1万人を切っていた。さらに、来館者数が1,000人以下の博物館は、2017年に3館、2018年に4館、2019年に4館であったが、2020年に10館、2021年に8館、2022年に7館であった。2020年に指標の大幅減のあと、2022年に2017年と同水準以上に持ち直すこの傾向は、来館者数上位層の博物館と同様であり、増減の傾向そのものは規模の差を超えて一貫していたと考えられる。

したがって、COVID-19流行前後のリトアニアの博物館の来館者数は、データのバラつきが見られたものの、その推移には共通の傾向が見られた。すなわち、2017年以降毎年来館者が増加していたが、COVID-19流行の始まった2020年に大幅に減少したものの、2022年までには2017年の水準までに来館者数が回復したということである。これは、リトアニアの博物館が、少なくとも来館者を受け入れるという面においては、2022年の段階で「以前のように」状況が戻ったことを示唆している。

3.3. オンラインの活動への反応の分析

2020年は博物館が閉館を余儀なくされた一方で、博物館によるオンラインのコミュニケーションが活発化した(ICOM 2020)。この活動のシフトは博物館の「レジリエンス」と言われた(UNESCO 2020)。博物館のオンラインの発信について多くの事例報告や調査研究がなされたが、実際にそれらは博物館の外の人々にどの程度届いたのだろうか。ここでは、その理解のためにウェブサイトの閲覧数を分析する。年間のウェブサイトのアクセス数の基本統計量を表3に示した。

ウェブサイトのアクセス件数の平均値と中央値は2017年から2022年にかけて減少傾向にある。平均

表3 年間のウェブサイトのアクセス数（件）の基本統計量

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
平均	89,977	81,812	82,136	67,986	96,764	77,820
中央値	19,452	14,721	18,000	15,455	14,228	13,027
最頻値	0	0	0	0	0	0
標準偏差	212,030.1	208,605.5	189,727.1	177,331.9	211,952.5	187,554.3
尖度	16.1	22.2	14.2	45.5	13.5	46.2
歪度	3.94	4.47	3.70	6.14	3.53	6.06
範囲	1,173,867	1,417,410	1,084,828	1,521,980	1,283,586	1,646,506
最小	0	0	0	0	0	0
最大	1,173,867	1,417,410	1,084,828	1,521,980	1,283,586	1,646,506

値は2021年に、中央値は2019年に急増が見られたものの、全体的な現象の傾向を覆すものではなかった。これらの指標が示すのは、全体的な傾向としては、COVID-19流行期にウェブサイトの閲覧数が全体的に増加したわけではなかったことである。

アクセス数の最大値は、別の傾向を示しており、2017年から2022年にかけて増減を繰り返している。しかし、少し広めにアクセス数上位層を見ると、100万件以上のアクセスは、2017年には4館見られたが、2018年には2館、2019年以降は1館のみであり、こちらも平均値や中央値と同じく減少傾向にあると見られる。

また特筆すべきは、最小値であり最頻値の0件である。分析前の統計データを参照すると、2017年に23館、2018年に24館、2019年に24館、2020年に22館、2021年に20館、2022年に16館の博物館において年間のウェブサイトのアクセス数が0件であった。この0件は、ウェブサイトが設置されていなかった場合と、適切にアクセス件数の記録や報告がなされていなかった場合が考えられるが、いずれも博物館側の未整備が原因であると考えられる。ただし、COVID-19流行後の3年間は前年に比べて0件の博物館数が減っており、ウェブサイト関連が未整備の博物館が徐々に減っている様子を示している。

以上の分析は、リトアニアの博物館全体の傾向として、ウェブサイトの閲覧数が年々減っていることを示している。そしてそれは、COVID-19流行の前から起こっていたことであり、COVID-19流行に伴うオンラインのコミュニケーションの活性化によっても変わらなかったのである。考えられる可能性としては、博物館の情報をオンラインで参照する人が、ウェブサイトを読んでいる可能性である。代わりに博物館が活用しているソーシャルメディアを参照している可能性は否定できないものの、統計データはウェブサイトへのアクセス数のみを扱っているため、これ以上の分析は、本稿の範疇ではない。

4. 総括

4.1. まとめ

本稿では、リトアニア共和国の博物館の統計データを基に、COVID-19流行に伴うロックダウンと閉館の影響を、博物館数、来館者数、ウェブサイトへのアクセス数の3つの指標から分析した。

博物館数は、リトアニア国内に関しては微増傾向にあり、COVID-19流行の影響によって閉館したと見られる博物館もなかった。来館者については、2020年に一時的な落ち込みがあったものの、2022年までにはCOVID-19流行前の水準まで回復した。ウェブ

サイトへのアクセス数については、COVID-19 流行下において博物館のオンライン活動が促進されたとの一般的な見解と一致せず、むしろ減少傾向が見られた。この結果は、COVID-19 流行以外の社会の変化に伴う博物館の外の人々にとっての博物館のウェブサイトの意義の変化があると捉えることも出来る。

4.2. 今後の展望

今回は、2017年から2022年を対象として中期的な影響の分析を試みた。前項に述べたように、来館者数はこの期間の設定および手法によって分析することが適した指標であった。しかし、以上に述べた分析結果は、博物館数とウェブサイトのアクセス数は本稿で適用した手法よりも効果的な調査手法があることを示唆している。

まず、博物館数については、今回の期間では検証するには短すぎた可能性がある。この指標については、5年後、10年後に長期的な視点から検証するのがより適切であると考えられ、さらに、館数のみならず、新設や廃止の経緯を質的な調査から把握する試みが必要であると思われる。

また、ウェブサイトのアクセス数については、そもそもウェブサイトが博物館によるオンラインのコミュニケーション手段として2020年代に適切なものであるのか、リトアニアの博物館において効果的な運用が目指されているのかを検証する必要がある。COVID-19の流行に伴う閉館以外の要素を調査することによって、本稿の分析結果が博物館の活動をどのように反映したものであるのかについての理解が深まると考えられる。

以上より、今後の展望としては、来館者数以外の指標については、対象期間や調査対象を広げることが展望される。COVID-19の流行が落ち着いて「以前のように」戻った後も、その影響を検証し続けることが重要である。

註

(1) この感染症対策の一環としての閉館は、博物館の外部からの要請・強制によるものであった。国内に博物館

が1館以上ある182か国のうち、156か国においては全ての博物館に活動を制限する法令が敷かれ、15か国においては部分的に博物館の活動を制限（一部の博物館の閉鎖）する法令が敷かれ、11か国においてはわずかな制限もしくは制限がなかった（UNESCO 2020:12）。日本は、部分的に博物館の活動を制限（一部の博物館の閉鎖）する措置が取られた15か国のひとつとして記述されている（ibid.）。

(2) 2021年に「リトアニア・スポーツ博物館 (Lietuvos sporto muziejus)」の分類が附属博物館から国立専門博物館に変わったことが、ウェブサイトから直接ダウンロードできるExcelファイル上では確認できる。しかし、現行の博物館の統計データを統合したデータベースからダウンロードしたデータ上では、2017年から2022年の6年間、「リトアニア・スポーツ博物館」は一貫して国立博物館である。本稿では、文化省のデータベースの統計データを参照しているが、博物館数の増減を分析する上で支障がないため、この点についてデータの修正は行わないこととする。

引用文献

- Bull, John David. 2020. “‘…Threat and Opportunity to Be Found in the Disintegrating World.’ (O’Hara 2003, 71) - The Potential for Transformative Museum Experiences in the Post-Covid Era.” *Journal of Conservation and Museum Studies* 18(1): 3.
- Grant, Craig et al. 2020. “Re-Opening after COVID-19 in New Zealand.” *Journal of Conservation and Museum Studies* 18 (1) : 4.
- ICOM. 2020. *Museums, Museum Professionals and COVID-19: Survey Results*.
- . 2021. *Museums, Museum Professionals and Covid-19: Third Survey*.
https://icom.museum/wp-content/uploads/2021/07/Museums-and-Covid-19_third-ICOM-report.pdf.
- Lietuvos Respublikos kultūros ministerija. 2023. “Pradžia | Muziejų veiklos statistinių rodiklių

sistema.”

<http://statistika.lrkm.lt/muzieju-veiklos-statistika/pradzia/17> (2023年4月検索) .

Prince, David, Daniel Laven, and Steven Lawson. 2021.

“Planning for a Sustainable Cultural Heritage Sector in a New Age.” *Journal of Conservation and Museum Studies* 19 (1) : 8.

Skipper, Philip, Claire Fry, and Clara Willett. 2021.

“Disinfection of Contaminated Heritage Surfaces from SARS-CoV-2 Virus.” *Journal of Conservation and Museum Studies* 19 (1) : 3.

UNESCO. 2020. *Museums around the World in the Face of COVID-19*.

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000373530> (2023年4月検索) .

木村文. 2017. 「歴史的影響下におけるリトアニアの博物館政策の現状について」. 博物館学雑誌 42 (2) : 69-98.

— . 2021. 「ロックダウンと博物館 : 新型コロナウイルス感染症流行下のリトアニア共和国国立博物館のFacebook利用動向の変遷」. 博物館学雑誌 47 (1) : 1-28